

ケアポート板橋（一般通所） 古谷 里美(介護職員)

- 功 績** 利用者さんの入浴介助中に、右乳房下の小さな腫瘍を発見。ご家族や関係機関へ情報提供し、手術が決定する運びとなった。介護職員の持つ洞察力と観察力の発揮により、ご本人とご家族より「発見していただき本当にありがとうございました」と感謝の言葉を頂くことができた功績。
- 推 薦 者** 黒沢 光 (舟渡高齢者在宅サービスセンター 主任)
- 推 薦 理 由** 今回、古谷職員の高い”観察力””洞察力”により、些細な身体状況に気が付き、見逃すことなく関係機関へ速やかに報告した行動は、ご本人、ご家族をはじめとし、ケアマネジャーからも信頼を得る形に繋がった。誇るべき健育マンの姿だと感じています。健育会のMVVにもある通り、ご家族へはニーズを満たす以上の”安心を超えた感動”が提供できた事。紹介元であるケアマネジャーへは”満足”を。職員へは、介護職員の模範となる行動を示した古谷職員自身の”やりがい”と他の職員を含め”成長の機会”へと繋がる事案と受け取ったため、この功績は理事長賞に値すると思ひ、推薦させていただきます。

内 容

◇利用者名 (S・S様) 70代 女性

- ・既往歴： パーキンソン病 高血圧症 糖尿病
- ・ご本人、ご主人、長男様の3人暮らしで、主たる介護者は夫。

平成24年に発症したパーキンソン病の進行が徐々に見られ、夫の介護負担軽減と入浴のニーズを満たすべく平成30年10月から週一回（土）デイサービスの利用となる。

3月中旬、入浴サービス中、洗体を実施していた際に右乳房下に小さなシコリがあるのを発見。その違和感を見逃すことなく全職員へ情報を共有し、生活相談員を介して担当ケアマネジャーやご家族へ報告を行った。その後、訪問看護より身体状況の確認をしてもらったが発見できず、ケアマネジャーから、「シコリはなかったとの事でした」との報告を受けるが、デイサービスの情報を信頼して下さっていたご家族が、改めて本氏の身体を確認したところ、シコリを発見。

再度ケアマネジャーへ繋ぎ、通院の運びとなった。その際、医師より「間違いなく癌の腫瘍である」との報告を受けたとご家族より8月初旬の来所時に申し送りがあり、結果8下旬に手術を受ける段取りとなった。

ご本人からは、一抹の不安が解消され、「安心できました」とのお言葉をいただき、ご利用時においても、前向きな面持ちで過ごしていただけているご様子が見受けられており、ご家族からは、「誰も気が付けなかったシコリを発見して下さった施設の職員さんへ本当に感謝しています」と感謝の言葉を頂けた。